

広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします

宮若 生活

Public Relation Magazine MIYAWAKA City



6

2007
NO.017

Hello、
初公演です

特集P3~

二十九人の劇団 宮若文化が目指す “新世紀”



三 百二十八日ぶりに劇団宮若レインボーカンパニーがかえってきました。合併記念ミュージカル「朱き燃え石く走れアルコ22号時空をこえて」の公演後から沸き起こった市民劇団の創設。宮若に新しい文化を根付かせたいという思いを胸に新生宮若レインボーカンパニーが発進しました。そして4月28日、初舞台の日を迎えたのです。今回の公演は劇団にとって小さな一歩かもしれませんが、宮若の文化にとっては大きな飛躍です。今月は、劇団のルーツから今後の夢についてまでお伝えします。

c o n t e n t s

宮若生活



特集
「Hello、初公演です」 _____ 3

表紙 _____ 1

旬人 (虹の会) _____ 2

Miyawaka Watching _____ 10

みやわか HOT LINE _____ 12

公民館トピック _____ 16

今月の健康 _____ 18

図書館だより _____ 19

イベント&ニュース _____ 20

宮若市探訪 _____ 24



【表紙写真】

4月28日、劇団宮若レインボーカンパニーの初舞台「ハロー、天使です。」が行われました。昼と夜の2回の公演はほぼ満席。舞台いっぱいに踊る劇団員は、観客の心にメッセージを訴えてきました。「生きる力」をテーマとして今回の公演にはどのような思いがあったのか。劇団の誕生のルーツからご紹介します。

13年間、
変わらずに活動できたこと
そして、これからもそのまま活動
することが目標です



虹の会 (にじのかい)・ボランティアグループ

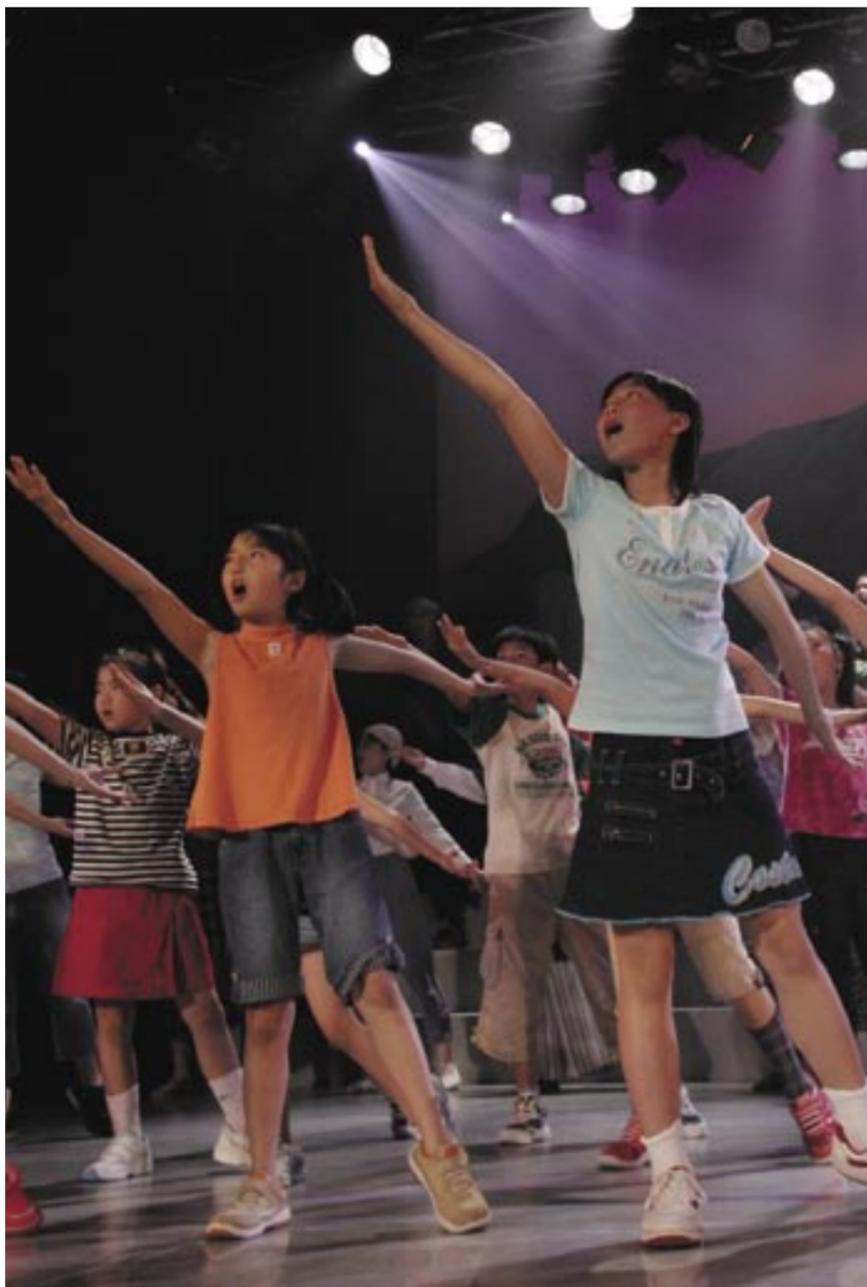
「何年も作りようけど難しいんよ。新しい油でもだめ。古過ぎる油でもだめ。石けんができる最終工程では、『いい石けんができますように』と、いつも呪文を唱えながらやっているんですよ。」
廃油石けんづくり一筋で活動している虹の会。会長の梶原博香さんは額に輝く汗をふきながら話してくれた。現在の会員は二十七人。「川を守る」という思いを胸に平成6年に発足した。
虹の会が廃油石けんを推進するのには理由がある。廃油を下水に流さずに済む上、合成洗剤を使わないで済むということである。そして何よりも汚れがよく落ちるのだ。
しかし、石けんづくりには危険が伴う。

劇薬である水酸化ナトリウムを使用するためだ。「一番怖いのがやけどです。廃油を固めるために水酸化ナトリウムを使うのですが製作の中で水と混ぜるところがあるんです。そこでかなりの熱が発生します。量が多ければ多いほど神経を使いますね。」
5月16日、作った石けんを市内十カ所に配布した。その内の一カ所である吉川小学校では、石けんのお札にと児童から手紙をプレゼントされた。
梶原さんは、「うれしいの一言につきます。会を立ち上げて今年で十三年。川の水を守りたいという思いを貫いてきました。これからも変わらずつ同じ思いで、活動したいですね。」

旬人 vol.16

すべては、七年前の
一つの思いからはじまった

誕生



↑ 9カ月の練習を経て迎えた本番。2日間で4回の公演は立ち見席がでるのなど大盛況だった。

「新しい市の門出には、ミュージカルしかない」。合併記念事業の実行委員の強い思いから出発した劇団宮若レインボーカンパニー。出発から本番までの9カ月間は、さまざまな問題と直面することになりました。現在の運営委員であり、合併記念ミュージカルを立ち上げた一人である永尾睦さんに、当時を振り返っていただきました。

「びっくりしたんです。通路から、号泣する出演者たちの声が聞こえてきたからです。」

通常、公演が終わると見に来てくれたお客さんを見送るため、出演者は通路に並ぶんです。前日と午前中のときは、笑顔で握手などをしていたんですけど、そのときは人の目も気にせず、大粒の涙をポロポロと流していたんです。大泣きする出演者の姿に心打たれました。あの時に思い描いていた感動を得ることができたんだと思うと、私も涙があふれてきました。この思いは七年前にさかのぼるんです。

あの感動をこのまちで体験したい

「仕事などの関係で生活の中心は、隣まちでした。正直、自分が住んでいるまちに目を向けることはありませんでした。そんなとき、地域の人からまちづくり委員を薦められたんです。まちづくり委員会は、行政の課題などを住民の視点から話し合い、提案する場です。隣まちで劇団の活動を続けながら、まちづくり委員会に参加するようになりました。そのころからでした。『このまちの子どものうちの中にも、踊りや歌をしたい子がきっといるはず。劇団を創ることができれば、あの感動をこのまちでも体験することができる。これまでやってきたことをこのまちでやってみよう』という思いが、強くなっていったんです。」

新しいまちをみんなの手でつくりたい

「そのとき最大のチャンスがやってきたんです。」

出演者はもちろん、保護者やスタッフすべての思いが一つになったとき、「いける」と確信しました

永尾睦さん

宮若市誕生に併せて、合併記念事業の実行委員を募集するということでした。私は『このときしかない』と思いました。合併記念事業に市民ミュージカルをしたいという、さかのほれば七年前からの思いが沸々とわいてきたんです。

第一回の実行委員会するとき、いろいろな意見が出されました。私は、自分の思いを話しました。

『市民ミュージカルをしたい。ただミュージカルをしたいんじゃない。劇は、たくさんの方の協力がないと完成しない。新しいまちづくりと同じように、出演者、スタッフ、そして観客が関わり創りあげていく。合併記念事業にはこれがふさわしい』と、思いのすべてを込めて訴えました。

思いが一つに重なるとき

「実行委員会が協議を重ねた結果、市民ミュージカルを行うことになりました。すぐに出演者が募集されプロの劇団の指導の元、一つの劇団が結成しました。『宮若レインボーカンパニー』の誕生です。ふるりの歴史を振り返りながら、宮若市の素晴らしさを伝えようという脚本も完成しました。」

しかし、多くの不安がつきまといまいます。練習になかなか人がそろわないんです。そして、ほとんどの人がミュージカル初体験なので、基礎的な練習からしなくてははいけません。九カ月間という時

間は、瞬間に過ぎ去っていきました。絶対に失敗は許されないという思いが日増しに、私たち実行委員の肩のしかかってくるようになっていきました。公演一カ月を切ったとき、全体像が見えてこないで、指導されている先生とも話をしました。これまでの経験上、この時期にはほぼ完成を以て、修正程度だったからです。

本番直前にもせりふが変わったりしたので、不安でたまりませんでした。

本番を間近に控えたある練習日、迎えに来た保護者に、練習時間が長引いていることについて説明したときでした。その保護者は「帰りの時間が遅くなっても構いません。それより完成してもらわないと困ります。私にも何かできることはありますか」と言ってくれたんです。

みんなが完成させたい、創りあげなくてはという思いが一つになったように感じました。実行委員の願いが、出演者にはもちろん、保護者やスタッフすべてに伝わっていくのを感じたとき、「いける」と確信しました。

本番でのお客さんの反応は、出演者の涙がすべてを物語っていました。『感動した、ありがとう』と泣きながら手を握る人など、たくさんの人と感動を共有することができました。七年前の思いが、最高の出演者とスタッフの力によって実現しました。

しかし、それは終わりではなく、始まりなんです。



→最後の公演が終わった瞬間泣き崩れる出演者たち。宮若市に新しい文化の風を起した瞬間でもあった。

絶対条件は、
勝負できる場であること

再起



↑ 歌唱指導からダンス指導まで、毎週入れ替わりで練習が行われる。公演以外にも、各種イベントに出演している。

新たな劇団発足にむけ、四カ月の準備をした後、昨年の10月、劇団宮若レインボーカンパニーは再出発を果たしました。そこからわずか半年後には初公演を成功させます。「歌やダンスだけの技術的な面だけを向上させるのがこの劇団の目的ではない」と語るのは代表を務める本多寛尚さん。
今後、深化していく劇団の中心にあるものについて語ってくれました。

「合併記念事業以前の話になるのですが、まちづくり委員の永尾さんからミュージカルを立ち上げたいという話をいただいたことがあったんです。そのとき私は、もちろんそのような文化が根付いてほしいと願う一方で、ここにはまだ難しいのではないかとこの思いから否定的な意見を言ったのを覚えています。しかしその後、合併記念ミュージカルが立ち上がり大成功したのを知り、新しい文化の誕生を喜びながら、申し訳ない気持ちがあったんです。もちろんその後、永尾さんには謝罪しましたけどね」と当時のエピソードを話してくれた本多さん。現在は、新生宮若レインボーカンパニーの代表として日々奔走している。

自分で自分を再発見すること

「こんなことを言ったら怒られるかもしれませんが、私にとって劇の出来栄はそれほど重要ではないんです。誤解を与えないように付け加えますが、歌にしてもダンスにしてもうまくなくていいことに越したことはありません。しかし、ここにはそれよりもっと大切なことがあるんです。

合併記念ミュージカルから四カ月後の10月、新生宮若レインボーカンパニーは再起しました。その時五十七人いた団員は約半分に、新しく入った仲間をいれても、三十人からのスタートでした。

運営委員の中には不安を感じた人もいたかもしれませんが、私はあまりそう思いませんでした。それは、団員一人ひとりを見たとき、とてもいい笑顔をしていただけです。団員の中には、新しい自分を見つげるために勝負しにきている子もいました。その子たちを一生懸命応援したいという気持ちの方が大きかったです。

初公演は、多くの人に見ていただくことができ、

大成功でした。私自身とてもうれしいことですが、それ以上にうれしかったのが、団員の笑顔が最後まで続いたこと。そして、この公演を成功させた自信から、これまでとは一皮も二皮も成長した団員の姿がそこにあつたことでした。

公演後の初練習のとき、団員全員に感想を発表してもらいました。ほぼ全員が「もっと歌がうまくなりたい」とか『ダンスを練習したい』と抱負を語っていました。自分で自分を再発見することが、人生のステップアップにつながると確信しています」。

まちの文化に親しむ まちづくり親しむ

「現在の団員の大半が児童・生徒です。家庭でもなく、学校でもなく、毎日の生活とは異なる時間がここにあると思います。そして、ここには自分を表現できる舞台があります。きっと子どもたちもそのような場所を求めているのではないかと思うんです。

普段は、大人が引っ張ってくれる世界に住んでいるとは思いますが、ここでは自ら行動することが求められます。そして、自分にまかせてもらえることに存在意義を実感することができるのではないのでしょうか。だから、団員は一人ひとりが本気で準備しますし、本気で本音をいうこともできるの

だと思っています。

なかには、本当は他の役に当たりたかったけど、外されたという人もいます。でも何一つ文句を言わない。それほど入れ込んで、頑張っているんだということが伝わってきます。本番まで誰一人欠けずにゴールできたということが、それを物語っているのではないのでしょうか。もちろんそこには、保護者の支えがあったことは語るまでもありません。

この劇団の大きな目標の一つに、『宮若市の地域文化やまちづくりに親しむ』ということがあります。

ここでいうまちづくりは、道を作ったり橋を作ったりすることではなく、人づくりだとかんがえています。団員と保護者、運営委員が力を合わせれば劇団の運営のみならず、人づくりも可能でしょう。この『人』にまず自分のことを一人目に数え、劇団の仲間、ひいては社会へとまなざしを広げたいと思います。

劇団宮若レインボーカンパニーも次の公演に向けて活動をしています。今回は時間の都合で、オリジナルなものをするにはできませんでしたが、次回は、この劇団にしかできないものを実現させたいと思います。二年目にもなると、これまでにな

い欲がでてくるんですよ。団員は意識していないかもしれませんが、宮若レインボーカンパニーという劇団が、個々の成長のきっかけとなることを願ってやみません」。

「ここには子どもたちが求めている、

本気で本音をだせる舞台があるんです

本多寛尚さん



一本番当日に行われた最終チェック。自分が気になる所は自ら申し出てやり直す。いい舞台にしたいという思いがひしひしと伝わってくる。

夢の続き……

初公演を大成功させた劇団宮若レインボーカンパニー。しかし、そこがゴールではありません。すでに次ぎに向かって走り始めています。これからの「夢のつづき」について語ってくれました。

公演を重ねて、もっともっと仲間を増やしていきたい

山本沙樹さん・高校2年生



初公演を成功させることができ本当によかったです。道を踏み外した役を演じるのに難しさを感じましたが、やりがいがありました。普段は全く逆なんですけどね。この劇団は雰囲気がいいのでとても楽しく練習ができます。みんなから「リーダー」と言ってもらえるのもうれしいことです。今回新しい仲間が増えたけど、もっともっと増やしていきたいと思います。これからもがんばりますのでよろしくお願いします。



だんだん、ミュージカルが楽しくなってきた

坂本亜美さん・小学校5年生



「朱き燃え石」にも出演したので、2回目なんですけど、最初よりもミュージカルがおもしろくなってきました。初めてのときは、どのように話しているのか、どのように動いているのかわからなかったけど、2回目になると劇の作り方が少しずつわかってきたからだと思います。みんなとコミュニケーションをとる時間が増えたこともおもしろくなってきた大きな理由です。歌が好きなのでもっともっと練習してうまくなりたいです。

もう一度
地域を題材にした
ミュージカルに
挑戦したい
劇団宮若レインボーカンパニー運営委員
神谷美晴さん
合併記念ミュージカルの成功の後の公演という、プレッシャーのなか

妹だけに楽しそうなことはさせられない

毛利綾那さん・小学校5年生 (左)
毛利花那さん・小学校5年生 (右)



妹が先にミュージカルをしていたのを見て、友達がたくさんできていたり、とても楽しそうに見えました。妹だけじゃなく、自分も体験したいと思って参加しました。練習は厳しいところはあるけど、やりがいがあります。本番では、目の前にたくさんのお客さんがいるのをみて緊張しました。でも、舞台に立つ回数が増えてくると逆に楽しくなってきました。これからも妹と一緒に歌に踊りに頑張っていきたいと思っています。

主役に花を添えられるような脇役をやりたい

斉藤慎子さん・小学校5年生



今回は団員の人数が少ない分、舞台に立つ回数がとても多かったです。だから前よりも一生懸命練習するようになりました。また、ダンスの難易度も「朱き燃え石」のときよりも「ハロー、天使です。」の方が上がっていたので大変でした。人数も舞台も小さくはなったけど、充実感は前よりもあります。これからも、ダンスをたくさん練習して、主役に花を添えられるような脇役にチャレンジしたいと思っています。

自分自身を変えてくれた劇団に感謝しています

岸田芳恵さん・高校2年生



不良の役でしたが、とてもやりやすかったです。役の年齢がほぼ一緒だということと、なんとなくですが、気持ちの中で通じるところがあったからかもしれません。自分自身も以前に比べて積極的に行動するようになったと思います。この劇団の中では上の方になるので、自分がやりださないとダメなんです。自分を変えてくれるきっかけをくれた劇団には、感謝していますし、これからも一生懸命がんばります。

でも公演後に、たくさんのお客様に拍手をいただいたことで心の底からほっとしました。スケールダウンしたことが結果的に団員一人ひとりの自主性を生み、さらに団員だけでなく、保護者の協調性にもつながったのだと思います。心一つにすればできないことはないですね。公演後、新しく十六人の団員が入ってきました。その中の一人は、合併記念ミュージカルに参加していて、受験のためにあきらめていたそうです。でも、今回の公演を見て「ミュージカル魂」に火がついたみたいでまた入団してくれました。勉強とミュージカルをきつと両立させてくれると信じています。このように、前に参加してくれていた子がカムバックしてくれたこともとてもうれしいです。私たちに、これからもたくさん夢があります。その一つに、もう一度地域を題材にしたミュージカルに挑戦したいということです。できれば、演出から指導まですべて宮若出身者の手で作りあげることができたらすてきなと思います。ぜひ、私たちと一緒に、市民の手による、地域のためのミュージカルに挑戦してみませんか。



広報担当がどこでも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

Miyawaka Watching

交通事故ゼロを目指して

▶ 宮若市交通モラル・マナー回復運動

5月7日、マリーホール宮田で、交通モラル・マナー回復住民大会が行われました。

行政と関係機関、そして地域住民が一体となって交通安全に取り組んでいますが、依然として交通事故により尊い命が失われています。老人クラブ連合会の北崎忠行さんが「飲酒運転の撲滅、自転車の安全利用、高齢者の交通事故防止」を声高らかに宣言を行いました。

その後、福岡県警の交通企画課の寸劇「安全桜」が行われ、1人ひとりのモラル・マナーの向上を、笑いを交えながら訴えました。



これからもがんばります、押忍

▶ 青少年フルコンタクト空手道大会3位入賞

3月25日に、北九州市新日鐵大谷体育館で行われた青少年フルコンタクト空手道大会で、山本颯君（福本会館）が3位入賞を果たしました。

小学校2年生の部・中級に出場した山本君は、31人のトーナメント戦を見事勝ち抜き、3位入賞を獲得しました。福本会館の福本博文さんは「最初にこれだけの成績を残せることはすごいこと。これからも期待している」と話してくれました。現在、黄色帯の山本君。「黒帯を目指して一生懸命がんばりたいです。押忍」と今後の抱負を力強く語ってくれました。



大切に使います

▶ トヨタテック福岡が寄付

4月17日、トヨタテック福岡株式会社がトヨタスプリングフェスタの収益金を宮若市に寄付するため、来庁しました。

トヨタテック福岡は、市内に立地している企業で、レクサス車などのフレームなどを造っている会社です。この日、総務課の小林さんは、トヨタスプリングフェスタの会場で、ヨーヨーすくいの収益金を市に寄付するために来庁、有吉市長に手渡ししました。「用意していた1,100個のヨーヨー全て売れました。小さなお子さんも楽しんでいただけたのではないかと思います。宮若市の福祉向上などのために使ってください」と話してくれました。



農業を愛する女性有志が結集

▶ 宮若市食と農を考える女性の会設立総会

4月20日、宮若市食と農を考える女性の会が設立されました。この会は、宮若市が誕生したのをきっかけに、女性農業者の横のつながりや行政との連携を作るために組織しました。

今、失われつつある郷土料理の継承や、次代を担う子ども達たちに伝える地元の味、生産者と消費者のパイプ役としての情報発信など、これからの活動は周囲からも期待されています。

初代会長である安田紀久子さんは「今、食育が注目されています。子どもたちに本当のふるさと料理を知ってもらいたいですね」と抱負を語ってくれました。



まちの玄関を美しく

▶ 赤十字奉仕団ボランティア活動

5月7、8日、宮若市婦人会が、本庁前の花壇と、中央公民館若宮分館の清掃を行いました。

赤十字奉仕団は、赤十字のボランティア活動を通じて、地域社会を住みよくしようという気持ちを持った人々によって構成されており、市町村などの地域ごとに組織され活動しています。

市役所前の花壇では、サルビアとマリーゴールドの植栽も行われ道行く人の癒しの場となりました。

婦人会では、赤十字奉仕団や地域のボランティアとしてさまざまな活動を行っています。

市内17か所に増えました

▶ 宮若市の「まちの駅」新たに8カ所誕生

5月1日、宮若市観光協会でもちの駅旗揚げ式が行われました。まちの駅では、観光客に地域の情報や休憩場所を無料で提供しています。今回8カ所が誕生し、計17カ所となりました。

トックの森の小森さんからのほりを受けとる「宮若文化村河童福祉の里」の野口和生駅長は、「お客さんがゆっくりとくつろげる空間を提供したい」と話してくれました。

宮若市の観光地を結ぶ新しい取り組みであるまちの駅。ふるさと再発見の旅に回ってみるのもよし、知人に紹介するのもよし、皆さんで盛り上げていきましょう。



いわもと はるき 岩本 悠輝ちゃん
H 17年6月7日生 (上大隈)

2歳のお誕生日おめでとう♥やんちゃん悠輝が大好きだよ♥

こうや まこと 神谷 真斗ちゃん
H 16年6月13日生 (沼口)

3歳のお誕生日おめでとう。お姉ちゃんに「負けないぞー」で泣き虫卒業だあ！

せりの りんか 芹野 凜果ちゃん
H 17年6月19日生 (原田)

お誕生日おめでとう。これからモバママはばとたくさん遊ぼうね。

たけまつ かける 武末 翔海ちゃん
H 16年6月13日生 (豊光)

3歳のお誕生日おめでとう。妹の輝ちゃんと仲良く元気に大きくなつてね。

我が家の愛とる。

● 満3歳までの宮若っ子を募集しています。7月生まれで掲載を希望される人は、6月11日(月)までに本庁まちづくり推進グループ、支所市民グループまで申し込んでください。

ときえだ きい 時枝 希衣ちゃん
H 17年6月18日生 (鶴田)

お誕生日おめでとう。秀虎と希衣の笑顔で、毎日頑張っているパパを癒してあげてね。

ほらだ まなき 原田 愛季ちゃん
H 18年6月8日生 (龍徳)

1歳のお誕生日おめでとう。しじい・はあばの大好きなまなちゃん。大きくなつてね。

やまうち ひなの 山内 比奈乃ちゃん
H 16年6月14日生 (本城)

3歳おめでとう。義くんのやさしいお姉ちゃんになってネ！

HOT LINE



国民健康保険高医療費市町村に指定されました

「国民健康保険」

● 問い合わせ 本庁国保年金係 ☎ 32・4004
支所市民グループ ☎ 52・1111

重複・多受診者への訪問指導
同月内に、同じ診療科で異

国保ヘルスアップ事業の実施
市で実施する健康診断の結果から、生活習慣病発症の危険性の高い人を対象に生活習慣改善の支援を行います。このことで健康増進、疾病予防を図ります。

● 平成17年度1人当たり医療費

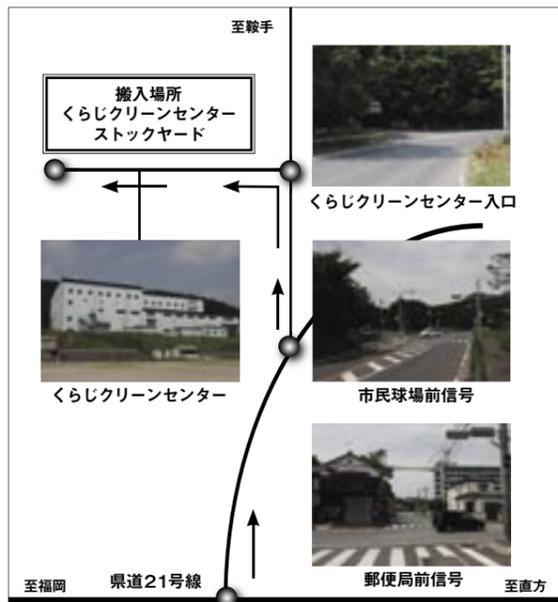
	一般	退職	老人	全体
宮若市 (県内順位)	269,913円 (18位)	438,855円 (22位)	977,908円 (34位)	535,578円 (7位)
福岡県	246,011円	431,602円	1,018,658円	471,238円
全国	212,243円	388,317円	826,822円	386,444円



ちょっと待った！資源物を捨てていませんか

「資源物の拠点回収」

● 問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎ 32・0516
支所福祉グループ ☎ 52・1113



「資源物」 地球を優しく、ごみゼロをめざして「をキャッチフレーズに、宮若市では、ごみの減量と資源の有効利用を目的に、拠点回収を行っています。

5月までは、毎月第二、四日曜日に地域交流センターで行っていましたが、6月からはさらに持ち込みがしやすいように本庁敷地内駐車場と、支所玄関側車庫に変更することになりました。

また新たに、7月からは第一、三週目の日曜日にくらじクリーンセンターで同じように資源物の拠点回収を行います。車などに積んで直接持ち込みができます。持ち込みは無料です。持ち込み方法については、本庁環境衛生係や支所福祉グループまでお問い合わせください。

- 受入日・場所 ▼第一、第三週の日曜日 くらじクリーンセンター ストックヤード (7月からとなります) ▼第二、四週の日曜日 本庁敷地内駐車場、支所玄関側車庫
- 受入時間 午前9時から正午まで
- 受入品目 空き缶、空きビン、ペットボトル、白色トレイ、発泡スチロール、布類、ビニール袋、紙類(新聞、ダンボール、雑誌、牛乳パック、その他(紙))



税源移譲はあなたの納税意識が求められます

「税源移譲が行われます」

● 問い合わせ 本庁市民税係 ☎ 32・0513

「国」 の所得税から地方の住民税へをキャッチコピーに進められてきた税源移譲。1月の広報紙でも紹介しましたが、6月に今年度の住民税が課税されますので、もう一度紹介します。

地方のことは地方で決める時代です
宮若市をはじめ、多くの市町村や都道府県は、国が国税(所得税など)として集めた財源の中から交付される補助金を受けて、行政運営を行っています。この補助金には、国から使いみちが制限されていて地方にとって自主性が高い仕組みとは言えません。

そのため、地方が自主的に財源の確保を行い、行政サービスを自らの責任で、より効率的に行えるように国税から地方税へ、税そのものの形で三兆円の税源が移されることになりました。

この税源移譲は、国の税である所得税から地方税に当たる住民税へ、それぞれの税率を変えて、国の税収(所得税)を減らし、地方の税収(住民税)を増やすことで、行われます。

所得税と住民税の合計は変わりません
住民税は「地域社会の会費」として納めるもので、今回の税率改正により所得にかかる税率(所得割税率)が一律、十パーセントになります。これに併せて、所得税は「所得の多い人」には多くの税額が、「所得の少ない人」には少ない税額が課せられるようになります。

このことから、多くの人は所得税が減り、住民税が増えますが、所得税と住民税とを合わせた全体の負担は、これまでと変わりません。

ただし、昨年より段階的に縮小してきた定率減税が、今年度から廃止となることや、65歳以上の人における老年者控除の廃止などを受けての段階的緩和措置、収入額や扶養状況などの変動により、税負担額が変わることがあります。

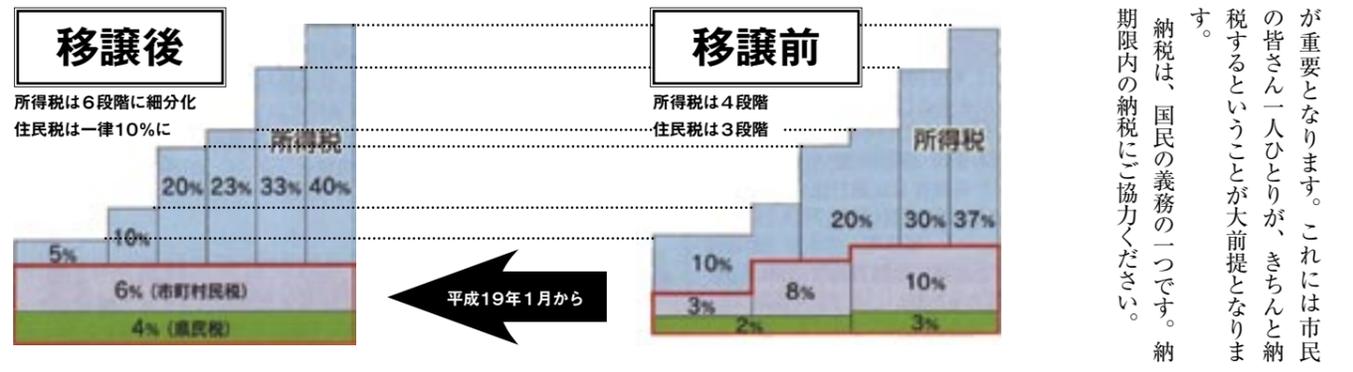
宮若市独自の事業を行うことができます。
このように、これまで国に納めていた所得税が減った代わりに、宮若市へ納める住民税が増えることで、これまで以上に市民の生活に即した市独自の事業が行えるようになります。

今年の4月から行っております県で初めての取り組みとなる就学前医療費の無料化は、宮若市独自の事業です。

今後も宮若市独自の新しい事業を企画し、実施していくためには、今回の税源移譲による財源の確保

なる医療機関に受診している人や、多数受診している人を対象に医療機関受診の指導を行います。

年に一度は、健康診断を
医療費が増えると国保財政の悪化により保険料の引き上げにもつながります。日頃の健康づくりに心がけ、年に一度は、健康診断を受診しましょう。



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
給与所得者	所得税	1月の給与から引かれている額が減っています ↓																	
	住民税							6月から増えます ↑											
年金受給者	所得税	2月に支給された年金から引かれている額が減っています ↓																	
	住民税							6月から増えます ↑											
自営業者	所得税																納税する額が減ります ↓		
	住民税							6月から増えます ↑											



相談体制が充実しました

「教育相談員」

● 問い合わせ 本庁学校教育課管理係 ☎ 32・1007



荒牧保子さん



平沢喜佐子さん

教育相談員の紹介

宮若市内の児童・生徒の健全な成長・発達を願い、専門の相談員が、本人や保護者また学校の先生と一緒に考えながら問題の解決に向かうように援助・助言を行っています。

※その他の日である火曜日から金曜日までの相談については、本庁学校教育課を通じての連絡となります。詳しい内容については、お問い合わせください。

児童生徒の健全な成長を援助します

宮若市教育委員会では小・中学校の不登校児童生徒及びその他の悩みをもつ児童、生徒または保護者のための相談機関として「教育相談室」を設置しています。

- 相談内容例 ▽学校に行かない▽情緒が不安定である▽いじめ問題
- 教育相談員 荒牧保子（あらまきやすこ）、平沢喜佐子（ひらさわきさこ）
- 対応内容 ▽電話相談、面接相談▽家庭訪問（不登校児童生徒のメンタルフレンドとして訪宅相談を行います）
- 連絡先 毎週月曜日各学
校相談室（午前8時30分
から午後5時15分まで）▽
宮田中学校、荒牧保子 ☎
32・0263 ▽宮田光陵
中学校、平沢喜佐子 ☎
2・3036



特別弔慰金の請求は、3月31日までです

「第8回特別弔慰金」

● 問い合わせ 本庁老人福祉係 ☎ 32・0515
支所福祉グループ係 ☎ 52・1113
福岡県保健福祉部 ☎ 092・643・3309

順位	対象者
1	基準日までに、戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した人
2	戦没者などの子
3	①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹（戦没者と生計関係を有していなかった人は除かれます）
4	上記3から除かれた①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹
5	上記1から4に該当しない3等親内親族（戦没者などの死亡時まで1年以上生計関係を有していた人）

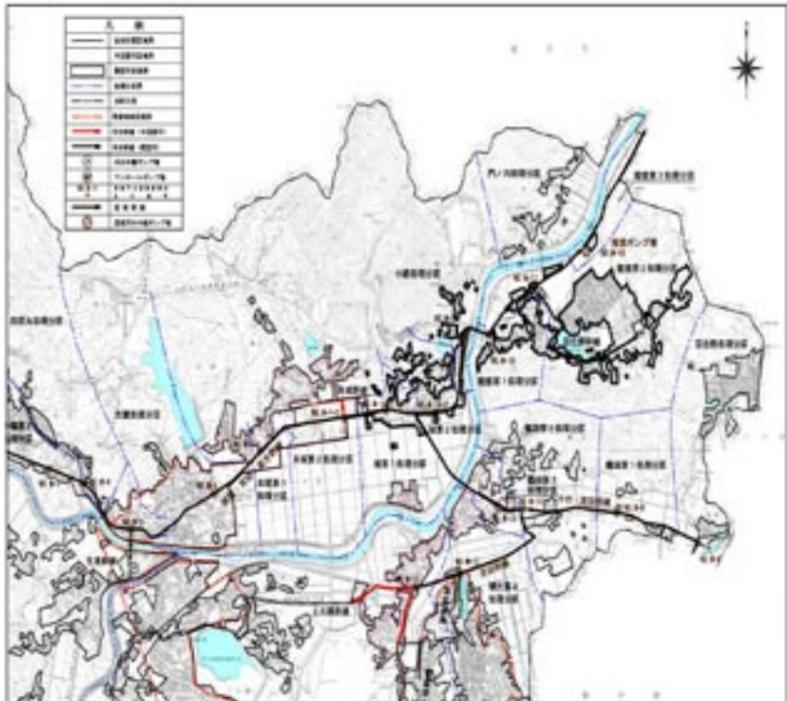
- 対象となる人 平成17年4月1日において、年金給付の受給権者（おもに戦没者の妻・父母など）がない場合に、戦没者等の死亡当時の遺族（当時生存していた人）で、上の表にある順序による先順位の人一人に支給されます。（同順位の人が二人以上いた場合、代表の一人が請求することになります。その際、他の同順位の人ご本人自署・なつ印による「請求同意書」などを併せて提出してください）
- 支給内容 額面四十万円、十年償還の記名国債
- 請求期間 平成20年3月31日（日）まで
- 請求期間を過ぎると時効により特別弔慰金を受け取ることができなくなりますので、ご注意ください。
- 必要な書類 ▽戦没者等の遺族に対する特別弔慰金請求書▽戦没者等の遺族等の現況等についての申立書▽特別弔慰金国庫債券印鑑等届出書▽請求者本人の戸籍抄本など。詳しくはお問い合わせください。
- 提出先 本庁老人福祉係、支所福祉グループ



清潔で、快適な住みよいまちづくりを目指して

「公共下水道事業認可区域の拡大」

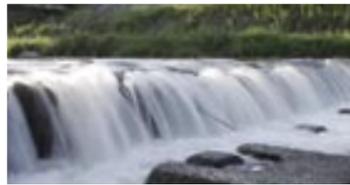
● 問い合わせ 本庁下水道課管理係 ☎ 32・3159



市では、快適で住みよい地域づくりを目指して、積極的に下水道事業を促進しています。現在の「事業認可区域」の整備率が宮田処理区で約六十パーセントとなりました。今後さらに整備を進めていくため、3月に事業認可変更の承諾を得て、本城・龍徳・磯光・鶴田地区の一部六十ヘクタールを加えた、事業認可区域に変更します。

● 事業認可区域とは 公共下水道の整備を行う場合、国土交通大臣又は知事から下水道法に基づく認可を受けて、下水道の工事をすることが認められた区域のことをいいます。公共下水道の使用できる地域がひろがりまし

● 縦覧場所 本庁下水道課管理係
● 縦覧期間 6月1日（金）から14日（木）まで
普及率を上げて河川をきれいに



下水道を整備するだけでは、汚水を下水道に流すことは出来ません。「供用開始した区域」の皆さんが宅内の排水設備工事を行い、下水道管に接続しないと、これまでどおり生活排水が側溝などに流れ、川の汚れや悪臭の原因となります。平成18年9月1日より一部地域で下水道の供用開始をしています。下水道の普及率が低い状況です。下水道は、区域内の皆さんが接続することにより効果が現れてきます。まだ、接続していないお宅は、速やかに接続するようにお願いします。また、排水設備工事は、宮若市が指定した工事に依頼してください。

- 併用開始した区域とは 下水道の整備が完了し、下水道が利用できる区域のことをいいます。
- 供用開始した区域とは 下水道の整備が完了し、下水道が利用できる区域のことをいいます。
- とき 10月14日（日）午前10時から正午まで
- ところ ▽北九州会場 ▽北九州市立大学▽福岡会場 ▽福岡ソフトリサーチパークセンタービル▽久留米会場 ▽久留米ビジネスプラザ▽飯塚会場 ▽福岡県立飯塚研究開発センター
- 受験申込期間 7月2日（月）から13日（金）まで
- 平成19年度の排水設備工事責任技術者試験が次のとおり行われます。
- 平成19年度の排水設備工事責任技術者試験が行われます
- 市では、下水道事業認可区域で合併処理浄化槽（十人槽以下）を設置した人に対して、補助金を交付しています。
- 今回、下水道事業認可区域を拡大したので、合併処理浄化槽設置補助金の対象区域を縮小します。拡大する区域で浄化槽を設置する人は、6月30日を持って補助金申請の受付を終了します。
- 事業認可区域内で7月1日以降に浄化槽を設置した分については、市からの補助金はありません。ご注意ください。
- 合併処理浄化槽補助対象地域が変更になります

三歳児クラス
幼児募集

三歳といえば、「かわいい赤ちゃん」を卒業し、第一反抗期真っ只中。親にとっては、とってもやりにくい年齢ですね。その反面、この時期は知能や体力の伸びも著しく、①多くの子どもたちと関わること②外でたくさん身体を動かすこと③集中して道具で遊ぶことが必要な時期だとも言われています。市では三歳児のクラスを開催しています。今年度は9月より活動を再開します。有資格者三人とボランティアスタッフが保育にあたります。



子育てボランティア講座から
三歳児クラスまで
宮若市では、

子育てを応援します

三歳児クラス
保育スタッフ募集

資格の有無にかかわらず、子ども好きの人ならどなたでも大丈夫です。子育て中という人には託児もあります。お子さん連れでの活動も可能です。

- 申込期限 6月14日(木)
- 説明会 6月21日(木) 午前10時から11時まで、中央公民館若宮分館 二階研修室で行います
- 問い合わせ 本庁社会教育・公民館 係 ☎32・0123

子育てボランティア講座
受講生大募集

市では、つくしんぼ、ちびっ子広場、わいわいクラブなどの子育てグループが活発に活動しています。

- 定員 二十五人
- 費用 無料

とき	内容	講師
6月25日(月) 午前10時から正午まで	なぜ今 子育て支援なのか	波止万里子さん (民生委員)
6月28日(木) 午前10時から正午まで	今どきの 子育て事情	川上利香さん (子育てネットワーク「う〜みん」)
7月2日(月) 午前10時から正午まで	乳幼児の 救命救急講習	谷山喜代子さん (日本赤十字社)
7月5日(木) 午前10時から正午まで	託児のノウハウを 身に付けよう	原田勝子さん (保育サービスエンゼル代表)
7月9日(月) 午前9時から正午まで	実際の託児を 見学してみよう	

- ところ 地域交流センター
- 申込期間 6月8日(金) から15日(金)まで(先着順)
- ※ 託児についてはお問い合わせください。
- 問い合わせ 本庁社会教育・公民館 係 ☎32・0123

第二回宮若市公民館親善ドッジビー大会
出場チーム募集

- とき 7月8日(日)
- ところ 旧福岡県立鞍手商業高等学校体育館、宮田南小学校体育館
- 集合時間 午前8時30分、9時から開会式
- 参加資格 ▼市内の地域公民館単位での参加とします。▼一チーム〓九人から十二人(正選手九人と補欠三人以下)。ただし、試合に出場する選手九人のうち、常に四人以上は二十歳以上の人とします。
- 申込締切 6月22日(金) 午後5時まで
- 申込方法 中央公民館、中央公民館若宮分館(希望者には申込用紙をファックスで送ります。電話でのお申込みはできません)
- 問い合わせ 本庁スポーツ振興係 ☎32・0123
- 代表者会議 6月28日(木) 午後7時より中央公民館2階学習室で行います。欠席する場合は、代理者の出席をお願いします。

水上安全法と心肺蘇生法の教室に
参加しませんか



- 対象者 宮若市内に住んでいる人や勤めている人
- 申込期限 7月10日(火) までに宮若市中央公民館へ申し込んでください。なお、当日の参加も歓迎します。
- 関係団体 ▼主催〓宮若市体育協会▼主管〓宮若市水泳協会▼後援〓宮若市教育委員会▼協賛〓直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部
- とき 7月15日(日) 午後2時から4時まで
- ところ 宮田B&G海洋センタープール、体育館
- 問い合わせ 本庁スポーツ振興係 ☎32・0123

6月のB&Gプール開館カレンダー

- 午前9時から午後8時まで
- 午後3時から午後8時まで
- 1日お休み

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

B&G海洋センタープールが開館します

6月17日(日) 午後1時30分から4時まで、宮若市水泳協会主催による記録会を行います。「自分は一体どれくらい泳げるんだろう」と思ったあなた、お友達を誘って挑戦してみませんか。プールの利用については、通常どおりです。

- 問い合わせ 宮若市宮田B&G海洋センター ☎32・0076

貝島炭碕思い出の作文を募集します



今年も宮若市の基幹産業だった貝島炭碕の思い出に関する作文を募集します。

- 例えば、「貝島炭碕での生活」、「貝島炭碕での仕事」、「貝島炭碕と商店街」、「貝島炭碕と農家」など題名は自由です。お待ちしております。
- 応募期限 8月31日(金)まで
- 字数 原稿用紙三枚程度(作品と関係のある写真があれば同封してください)
- 提出先 宮若市石炭記念館
- 問い合わせ 宮若市石炭記念館 ☎32・0404



ターシャの庭づくり
ターシャ・デュダ・著
メディアファクトリー

「庭がもっとも輝くのは5月と6月」。そう言いきるのは御年91歳の絵本作家、ターシャ・デュダ。やせっぽちの体でシャベルを持つ姿は、「暮らす」こと全てを愛し、生きることを心から楽しんでいるようです。森の中の家に移住して以来35年間、広大な庭を少しずつ育ててきました。誰に見せるわけでもないターシャだけの愛する庭の全貌を一挙公開した1冊です。



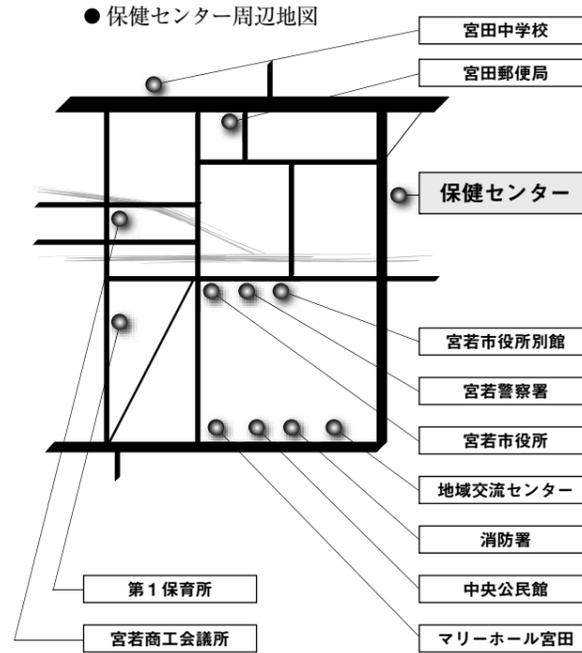
手づくり結婚式のアイデアBOOK
みづゑ編集部・編
美術出版社

花嫁となる日。それは世界で一番好きな人と人生を共に歩く始まりの日。本書は、記念すべき日に身に付けたい、プレゼントしたいオシャレな小物の作り方を紹介しています。幸せに満ちた心を表す小物は、時が経っても至福の頃を回想させてくれます。手づくりウェディングのためのスケジュールも紹介されていて、忙しい花嫁さんにも親切な1冊です。



もりでうまれたおんなのこ
磯 みゆき・作 宇野 亞喜良・絵
ポプラ社

周りの顔色を伺いながら良い子が続けてきた女の子が自分らしさを取り戻すまでの軌跡を描いた絵本の紹介です。この女の子のと同じ境遇にある人は案外多いのではないのでしょうか。女の子の苦悩する姿に胸が痛くなる前半ですが、後半はドキドキする程の幸福感に包まれます。宇野亞喜良さんの繊細で幻想的な挿絵が充分に楽しめる1冊です。



がんは、食生活や運動、喫煙などのライフスタイルに影響を受けるため、日常生活に気を配ることが大切です。それに加え、定期的に検診を受けることもがんの早期発見につながります。下にありますが日程でがん検診を行います。なお、年間の健診の日程については、各種健診の日程表に掲載していますので、都合の良い日に受診してください。今回の検診は予約制です。事前に電話でお申込みください。

▼ 検診日 7月30日(月)、31日(火)
▼ 申込期間 6月18日(月) から 7月13日(金) まで

- とき 7月30日(月)、31日(火) 受付は午前9時から10時30分まで
- ところ 保健センター(本城)
- 申込期間 6月18日(月) から7月13日(金) まで
- 申込方法 電話で保健センターまでお申込みください。定員になり次第締め切りします
- 問い合わせ 保健センター ☎32・8530

保健センターでがん検診を行います

今月の新刊です

- 一般の本
健康問答 (五木寛之・作)
うさぎおいしーフランス人 (村上春樹・作)
慎みを食卓に (辰巳芳子・作)
- 児童の本
つるばら村の理容師さん (茂市 久美子・作)
ねむいねむいねずみとおばけたち (佐々木 マキ・作)
こそあど森の物語 あかりの木の魔法 (岡田 淳・作)

おはなし会のお知らせ

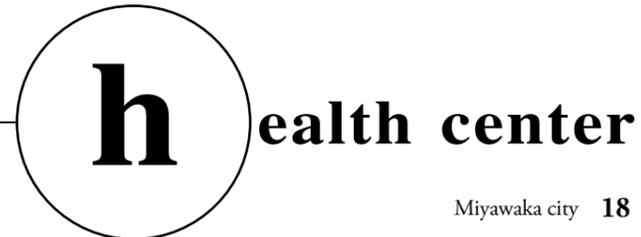
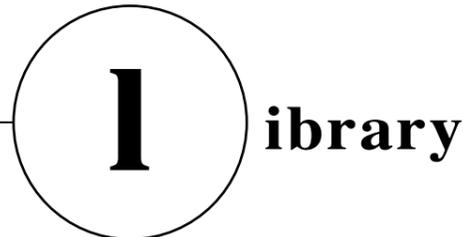
参加するとシールが貼れるお話し会カードがもらえます。たくさんシールを集めてね。今回の簡単工作は「七夕の日」です。
● とき 7月7日(土) 午後2時から
● ところ 中央公民館1階児童室
※ 参加費は無料です。

三好達治の詩、「乳母車」に書かれた「紫陽花いろのものふるなり」の一節。物憂げな梅雨を連想させるだけでなく、儂さ、寂しさ、美しさ、そして優しさを感じませんか。

さて、図書室では「ぴーちくばーちく」という図書室便りを発行しています。新刊書のお知らせ、話題の本情報、心にしみこむ絵本の話、図書室の便利なサービスなど、さまざまな内容を詰め込んだ司書の手作り便りです。ぴーちくばーちくお喋りするよう本のことを語らい、皆さんと本との出会いを数多く作れますようにとの願いを込めたこの便り。お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。

注1 健診の年齢基準は、平成20年3月31日現在とします
注2 70歳以上、非課税世帯、生活保護受給者は健診料金が無料です

検査	対象	内容	料金	定員
胃がん検診		胃部レントゲン (バリウム服用)	500円	80人
大腸がん検診	40歳以上の人	便潜血検査 (健診当日回収します)	300円	100人
肺がん検診		胸部レントゲン検査 (必要に応じて喀痰検査) ※ 65歳以上は結核検診を含みます	100円	100人
子宮がん検診	30歳以上の女性	子宮頸部の細胞診	400円	80人
乳がん検診	30歳から39歳の女性	視触診のみ	100円	80人 (50人)
	40歳以上の女性	① 視触診のみ ② ①とマンモグラフィ (乳房エックス線撮影) ※ マンモグラフィは2年に1回です。 ※ マンモグラフィの定員は50人です。	① 100円 ② 500円	



募集

invite information

第2回県営住宅入居者募集

- 受付期間 6月1日(金)から11日(月)まで
- ※ 募集対象団地、戸数などは募集案内書に掲載しています。
- 申込書配布場所 本庁住宅管理係、支所市民グループ
- 次回募集予定期間 9月3日(月)から11日(火)まで
- 問い合わせ 筑豊県営住宅管理事務所 ☎0948・21・3232

ストーマについて学んでみませんか

- 人工肛門や人工膀胱について学ぶ健康教室です。
- とき 7月8日(日)午後1時30分から午後4時まで
 - ところ スマイルプラザ田川
 - 講師 石井美紀子さん(福岡赤十字病院 WOC 認定看護師)
 - テーマ 「ストーマの管理全般について」
 - 問い合わせ 日本オストミー協会福岡県支部筑豊分会 ☎25・0286

手話で友達を増やそう 手話奉仕員養成講座 参加者募集

- 手話技術を学んで、聴覚障害者の皆さんと情報交換しませんか。
- とき 7月11日から12月19日までの毎週水曜日、午後7時30分から9時30分まで
 - ところ 中央公民館2階学習室
 - 対象者 高校生以上
 - 受講費 無料(テキスト代1,200円は自己負担)
 - 申込み・問い合わせ 宮若市社会福祉協議会 ☎32・0335、宮若市社会福祉協議会若宮事務所 ☎52・0980

親子のきずなを再確認 「母と子のためのキャンプ」参加者募集

- ひとり親家庭のリフレッシュ事業として、一流ホテルのシェフと野外で作る本格フランス料理に挑戦します。
- とき 6月23日(土)、24日(日)
 - ところ 国立夜須高原少年自然の家
 - 対象 5歳以上中学生以下のお子さんを持つひとり親家庭の母と子30組
 - 参加費 ▷大人=4,000円 ▷子ども=3,500円
 - 締切 6月12日(火)まで
 - 問い合わせ 福岡県母子寡婦福祉連合会 ☎092・584・3922

福岡県農業大学 研修生の追加募集

- 農業を始めたい人、生産品種を変えようと考えている人など、農業大学校で学んでみませんか。
- 募集内容 ▷野菜コース=イチゴ・トマト・ナス▷花きコース=キク切り花・花壇苗
 - 定員 8人
 - とき 8月1日(水)から平成20年3月31日(月)
 - 申込期限 7月13日(金)までに必要書類の提出(書類審査、面接あり)
 - 問い合わせ 福岡県農業大学校 ☎092・925・2403、福岡県農業技術課 ☎092・643・3495

海外派遣農業研修生を募集します

- アメリカやヨーロッパ諸国へ長期滞在して、現地の人たちと交流しながら、海外の農業を体験してみませんか。
- 対象者 独身青年(年齢、その他資格等制限あり)
 - 研修期間 平成20年3月以降、12から18カ月間程度
 - 応募期限 7月20日(金)
 - 問い合わせ 福岡県農政部農業技術課 ☎092・643・3495

活躍の舞台は世界 「女性研修の翼」 団員募集

- 福岡県女性海外研修事業「女性研修の翼」の団員を募集します。
- 研修国 デンマーク・オランダ
 - とき 10月14日(日)から21日(日)まで
 - 応募資格 ▷県内に住んでいる人で、平成19年4月1日現在、20歳以上65歳以下の人▷団体や企業で男女共同参画などに関する活動を行っており、帰国後も活動を期待できる人。ただし、公務員や学生、過去に同種の派遣事業に参加した人は除きます。
 - 募集定員 20人(書類選考と面接)
 - 研修費用 21万円程度
 - 募集期間 6月22日(金)まで
 - 申込先 本庁人権推進係
 - 問い合わせ 福岡県男女共同参画推進課 ☎092・643・3391

初夏の風物詩 犬鳴川川下り大会



↑ 今年はどうな舟が登場するか楽しみです

- とき 7月22日(日)午前7時
- コース 宮若市役所前河川敷駐車場から直方市天神橋下流花の木井堰までの9キロ
- 参加資格 小学4年生以上
- 申込期間 6月18日(月)から7月13日(金)まで
- ※ 大会の運営をお手伝いしていただくボランティアを募集します。詳しい内容についてはお問い合わせください。
- 問い合わせ 犬鳴川川下り実行委員会 ☎32・2737

その他

others information

あなたの働く意欲を応援します

- 育児や介護などの事情で一旦仕事をやめたけれど「また働きたい」と思っているあなたを応援します。
- 就業アドバイザーへは来所、電話、メールでご連絡ください。相談は無料で秘密は厳守します。
- 連絡先 福岡県筑豊労働福祉事務所 ☎0948・22・1681
 - 相談日 月曜日から金曜日まで(午前8時30分から午後5時15分まで)日・祝日は除きます。
 - その他・問い合わせ ▷田川市男女共同参画センター=第1水曜日(午後1時30分から3時30分まで)▷直方市働く婦人の家=第2水曜日(午後1時30分から3時30分まで)▷飯塚市男女共同参画推進センター=第3木曜日(午後1時から4時まで、要予約)

児童手当の現況届をお忘れなく

- 児童手当受給中の人は、毎年6月に現況届を提出する必要があります。
- この現況届は、皆さんが引き続き手当を受けられるかどうかを確認する大切な届です。該当する人は、必ず期限内に提出してください。
- もし、提出されない場合は6月以降の手当が受けられなくなります。対象者には後日、案内のハガキをお送りしますのでご確認ください。
- 受付 6月11日(月)から22日(金)午前9時から午後7時まで
 - ※ 土・日曜日を除く
 - ところ ▷宮田地区の人=本庁児童母子福祉係▷若宮地区の人=支所福祉グループ
 - 問い合わせ 本庁児童母子福祉係 ☎32・0517、支所福祉グループ ☎52・1113

商業統計調査を行います

この調査は、商業の実態を明らかにし、流通産業施策の基礎資料となるものです。6月1日を基準として、商業事業所すべてを対象に、商業統計調査を全国で行っています。回答内容を、統計以外の目的に使うことはありませんので、安心して記入してください。

調査員が、各事業所に訪問しますのでご協力をお願いします。

- 問い合わせ 福岡県調査統計課 ☎092・643・3191、本庁総務グループ ☎32・0511

守って!電波のルール 6月1日から10日までは電波利用保護期間です

不法な無線局は、テレビやラジオ、携帯電話の通話を妨害するなど暮らしに悪影響を及ぼします。また警察、消防・防災行政無線など人命に関わる重要な無線に対する混信・妨害なども引き起こすなど私たちの生活をおびやかします。一人ひとりがルールを守ってクリーンな電波環境を作りましょう。

- 問い合わせ 九州総合通信局 ☎096・368・8656、http://www.kbt.go.jp/

赤十字災害救援用自動車配備されました

今回、日本赤十字社福岡県支部より赤十字災害救援用自動車の配備を受けました。

この車は、災害が発生したときの救護活動や献血事業、社資募集など、宮若市の赤十字活動に使われます。



7月の保健行事カレンダー

- 3日(火): 4か月児健診
受付は午後12時45分~1時 保健センター
- 4日(水): BCG予防接種
受付は午後1時~1時30分 保健センター
- 5日(木): すくすく相談
受付は午前10時~11時 保健センター
- 10日(火): 1歳6か月児健診
受付は午後1時~1時30分 保健センター
- 12日(木): 親子遊び教室
午後10時30分~正午 マリーホール宮田
- 17日(火): 7・12か月健診
受付は午後1時~1時30分 保健センター
- 18日(水): 基本健康診査
受付は午前9時~10時30分 保健センター
- 19日(木): すくすく相談
受付は午前10時~11時 保健センターパレット
- 20日(金): ポリオ予防接種
受付は午後1時15分~2時15分 保健センター
- 27日(金): 離乳食教室(後期・要予約)
午前10時~11時30分 保健センターパレット
- 30日(月): がん検診(要予約)
- 31日(火): " 受付は午前9時~10時30分 保健センター

4月の安全安心インフォメーション

交通事故発生件数と窃盗犯罪発生件数です()内の数字は1月からの累計です。

交通事故	罪種名	件数
件数	車上ねらい	2(10)
90(386)	部品ねらい	5(11)
死者	乗り物盗	4(14)
0(0)	自販機ねらい	2(14)
負傷者	空き巣など	2(14)
42(123)	合計	15(63)



納税

tax information

今月の納税（6月）

- 市県民税 第1期
 - 国民健康保険税 第3期
 - 納期限 7月2日（月）
 - 口座振替日 6月25日（月）
- 納期限内に納税されないときは、納期限の翌日から完納される期間に応じ、延滞金が徴収されます。（最初の1カ月は年利4.4％、以降14.6％）
- 問い合わせ 本庁収納係 ☎32・1008

相談

consult information

福岡県立直方聾学校で教育相談を行います

- 聴覚障害のため、聞こえやことばの発達で困っているお子さんの相談を受け付けます。
- 対象年齢 15歳までのお子さんとその保護者や関係者
 - 相談日 月曜日から金曜日まで（午前9時から午後4時30分まで）事前に電話やFAXでご連絡ください。
 - 問い合わせ 福岡県立直方聾学校 ☎26・5351、FAX 26・4601

「赤ちゃん・子ども電話相談」の電話番号が変わりました



- 子育てなどの不安の軽減を目的に、赤ちゃんや子どもの思春期に関して電話を通じて相談に応じる「赤ちゃん・子ども電話相談」の電話番号が変更になりました。
- 電話番号 ☎092・642・0110（旧番号=☎092・715・0110）

お気軽にどうぞ 鞍手地区就学相談

- 鞍手地区就学相談委員会では、障害の程度によって特別支援学校などでの教育を受けるかどうか考えている保護者を対象に、次のとおり就学相談を行います。事前の申し込みが必要です
- とき 9月4日（火）、9月5日（水）の予定です。午前9時から午後4時50分まで
 - ところ 宮若市中央公民館
 - 申込締切 6月22日（金）
 - 問い合わせ 本庁学校教育係 ☎32・1007

母子家庭等就業・自立支援センター巡回相談会

- 母子家庭の母の就職に関する相談や求人情報の提供などの就職支援サービスを行っています。また、今年度から養育費などの法律相談会も行います。
- とき 毎月第2火曜日（祝日はお休み）午前10時から午後3時まで ※法律相談は6月、10月、平成20年2月です（午後1時から3時まで）
 - ところ 飯塚市役所第2別館児童育成課相談室
 - 問い合わせ 飯塚市役所児童母子係 ☎0948・22・5500

あなたと歩む司法書士 無料法律相談会

- 相続や遺言、不動産登記・商業登記、成年後見制度、多重債務など、司法書士が無料で相談に応じます。秘密は固く守られます。お気軽にお問い合わせください。
- とき 6月24日（日）午前10時から午後3時まで
 - ところ 若宮商工会館2階
 - その他 事前に予約した人を優先します。（予約電話☎0947・44・2530、午前10時から正午まで）
 - 問い合わせ 福岡県司法書士会筑豊支部 ☎0947・45・3996

試験

examination information

職業訓練指導員試験が行われます

- 公共職業能力開発施設や認定職業能力開発校などで職業訓練指導にあたる指導員に必要な資格です。
- 情報処理科 ▷受付期間=7月3日（火）から9日（月）まで▷試験日=8月8日（水）
 - 全職種 ▷受付期間=10月23日（火）から29日（月）まで▷試験日=11月28日（水）
 - ところ 福岡県吉塚合同庁舎
 - 問い合わせ 福岡県生活労働部労働局職業能力開発課 ☎092・643・3604

守護人として公に尽くす 2等陸海空士採用試験

- 次のとおり採用試験を行います。
- 資格 18歳以上27歳未満の男子
 - 受付期間 5月14日（月）から6月14日（木）まで
 - ところ 陸上自衛隊久留米駐屯地
 - 試験日 6月16日（土）
 - 問い合わせ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 ☎0948・22・4847

介護支援専門員実務研修 受講試験を行います

- 試験日 10月28日（日）
- ところ 福岡経済大学、九州共立大学、福岡教育大学
- 申込書配布期間 7月2日（月）から8月10日（金）まで
- 配布場所 県の各保健福祉環境事務所など
- 受験申込期間 7月11日（水）から8月10日（金）消印有効
- 問い合わせ 福岡県保健福祉部介護保険課 ☎092・643・3322

講座

lecture information

親子で参加しよう すこやか食育教室

- 幼児期からの食生活を、簡単な料理を作りながら学ぶ教室です。就学前の幼児とその保護者が対象で、予約が必要です（託児希望者は予約時に）。
- とき 6月26日（火）午前10時から午後1時まで
 - ところ 保健センター「パレット」
 - 申込期間 6月19日（水）まで
 - ※ 定員になり次第締め切ります。
 - 申込み・問い合わせ 保健センター「パレット」 ☎55・6000

愛情はたっぷりと 責任はしっかりと 犬を飼う人のための講習会

- 犬の正しい飼い方などの講習会を行います。（子犬の譲渡会の事前講習会を兼ねています。参加する人はどちらかの講習会を必ず受講してください）
- とき 6月13日（水）午後1時から受付、1時30分開講
 - ところ 福岡県直方総合庁舎2階201会議室
 - とき 6月20日（水）午後1時から受付、1時30分開講
 - ところ 嘉穂保健福祉環境事務所別棟会議室（飯塚市）
 - ▶ 子犬の譲渡会
子犬を愛情を持って、終生飼うことができる人にお譲りします。
 - とき 6月27日（水）午後1時から（子犬の展示の時間は1時30分までとなります）
 - ところ 嘉穂保健福祉環境事務所別棟会議室
 - 内容 子犬の譲渡会、犬に関する法律の説明、子犬を迎える準備、子犬との接し方、子犬の健康管理など
 - 参加条件 「これから犬を飼う人のための講習会」を受講した人に限ります。
 - 申込み・問い合わせ 福岡県鞍手保健福祉環境事務所 ☎23・3111

都市計画の案を縦覧します

- 問い合わせ 本庁都市計画係 ☎32・0955
- 4月6日から20日までの期間に原案をお見せしました宮田都市計画道路の変更案について、都市計画法に基づいて、次のとおり縦覧を行います。
- とき 6月6日（水）から20日（水）まで、土・日曜日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで
 - ところ 本庁都市計画係（福岡県が決定するものについては、福岡県都市計画課でも縦覧することができます）
 - 宮田都市計画道路の変更（福岡県が決定するもの）▷3・5・1 桐野太蔵線▷3・4・2 羅漢龍徳線▷3・5・3 龍徳鳴生田線▷3・5・4 宮田本白線
 - 宮田都市計画道路の変更（宮若市が決定するもの）▷3・5・5 桐野本城線▷3・5・6 菅牟田磯光線▷3・5・7 勝野長井鶴線▷3・4・8 片鉾辨鳥線
- これらの都市計画案について、意見がある人は意見書を提出することができます。
- 意見書提出期限 6月20日（水）までに本庁都市計画係へ（意見書の様式は準備しています）
 - ※ 提出された意見書の内容は、都市計画案が審議される福岡県都市計画審議会に提出します。
 - ※ 福岡県都市計画審議会の審議は公開されます。
 - ※ 開催日時などについては福岡県のホームページや問い合わせ先でご確認ください。

宮若ほたる祭が行われます

- 問い合わせ 宮若市観光協会 ☎55・9090
- 今年も、西鞍の丘運動公園ではほたる祭が行われます。楽しいアトラクションやゲームなども用意しています。
- とき 6月9日（土）午前11時開場
 - ところ 西鞍の丘運動公園
 - ※ 各ほたるの観賞（シャトルバスで現地へ案内）
 - ※ 宮若でレッツ農（家族で田植えなど）
-

人の動き

● 4月30日現在の人口です

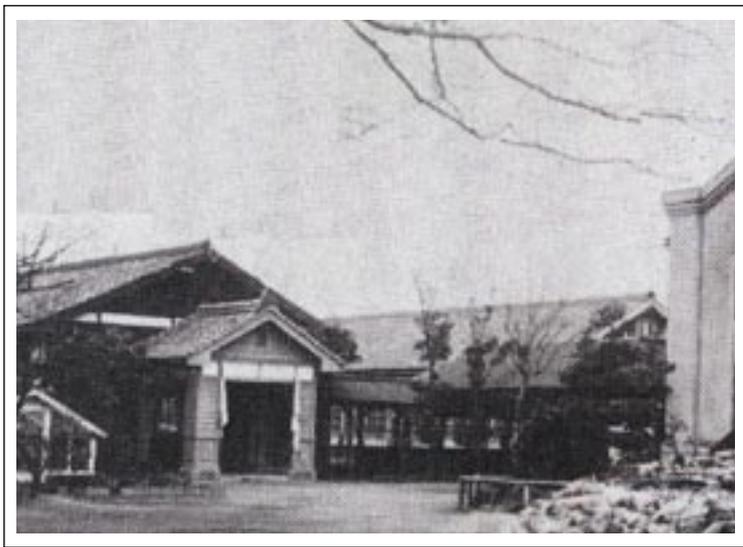
人口	21人増えました	(31,272人)	出生	24人
男性	12人増えました	(14,748人)	死亡	37人
女性	9人増えました	(16,524人)	転入	164人
世帯数	19世帯増えました	(12,665世帯)	転出	130人
高齢化率	27.2%			

※ 高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です



ふる里は燃えている。

日本の近代化を支えた「炭鉱」。宮若市もその一角を担ってきた。筑豊の風土や人のつながり、人と炭鉱の熱気につつまれたあの時。貝島炭鉱にまつわる作文を通して、当手を振り返ります。



→ 旧宮田南小学校校舎（現在の市役所・中央公民館周辺）

ふるさと炭鉱町の思い出

文：五老海 勝利さん（岡山県玉野市）

炭鉱町に生まれ、水洗機の音を聞き、硬山を見ながら育った私には、この炭鉱が消えるという事など夢にも思いませんでした。

昭和19年、宮田南小学校に入学。二十一年に入ると、戦争も一段と激しくなり、長井鶴からの通学も規制され、分散学校といい、低学年組は十三仏寺の前の公会堂、高学年は八所神社境内の能舞台とに別れ、勉強というよりよく遊んだものです。八月の終戦と同時に普通の通学に戻りました。正面の左側に町役場、右手に文房具店、前の道を直進すると宮田駅へ通じる。正門を入ると職員室、右手が二宮金次郎の像及び講堂と記憶しています。

授業の思い出より、親友との下校時、好奇心にまかせ、あちこちへ足を伸ばす。春日神社の正面石段に昇り別の石段から降りる。また、羅漢橋まで帰ると直進すれば長井鶴、右側へ進むと向山方面、途中荷馬車に出会うと、交互に飛び乗り、馬方さんに怒鳴られながらも、それを繰り返す悪童でもあった。

中学校に入ると、北校、南校、満之浦と三校が合流し、遠距離の通学者も多数いて、私の行動範囲も自然と広くなり、色々な友達と親しくなれた事も、懐かしく思い出されます。昭和28年、貝島技術学校電気科へ入学。学校は旧八坑にあり、通学は貝島専用鉄道、俗に充填汽車、屋根付の箱型車両に屋根無し台車の二両編成、六坑駅を出発、桐野発電所、貝島本社前、中央工場を経て次が技術学校前である。なお、その汽車は五坑方面へ行く。昭和29年4月、貝島炭鉱六坑坑外電工として入社。当時の石炭業界では合理化が進みつ

つあり、他の炭鉱では人員整理などが行われた時代でもあった。入社後すぐ現場へ出してもらえなかったが、大先輩の倉庫番といった資材の整理、工具の整備、お茶沸かし、詰所の掃除など、多種多様の毎日でした。しかし時々現場へ連れて行ってもらう喜びには格別なものがありませんでした。

そうした長閑な時代にも、石炭産業には厳しい合理化が進み、昭和37年6月末を持って六坑閉山。第二会社移行まで期間、7月1日より保坑の為の保安要員のみが残り、他の人達は配置転換、退職、他県への再出発と別れになりました。

昭和38年2月より新菅牟田坑の水洗炭機修理工として配置転換、専用の通勤バスにて通勤、ここでも三交替勤務があり、新坑西区へ転宅、その後再度外電工となるもの、昭和41年、貝島炭鉱閉山、生まれ育った宮田町長井鶴、六坑一区、村の露地から露地、又、炭住の隅から隅まで知りつくし、何処で誰と会っても見知らぬ人はいない二十七年間でした。

年明けて昭和42年、みぞれ混じりの夕方、2才になったばかりの子、それに年老いた母との四人家族、兄貴や知人に送られ磯光駅へ、直方駅より片道切符の夜行列車「天草」での集団就職、朝5時過ぎ岡山着。平成10年3月末をもって停年退職、すでに生まれ育ったふる里での生活より長くなっていました。しかし、私の脳裏の中には、昔のままのふる里の風景があり、親しかった友人、先輩たちの姿が当時のままで残っています。

編集後記

「何かの間違いでは？」連絡を受けたときの素直な感想です。

昨年12月に発行しました「広報みやわか『宮若生活』」が福岡県広報コンクール特選に引き続き、全国広報コンクールでも特選。総務大臣賞を授賞しました。

「協働のまちづくりについて考えてもらうきっかけになれば」と、トヨタ自動車九州株式会社や市長のインタビューなどを取り上げた特集が高く評価されました。

確かに、授賞したことはうれしいことです。しかし、忘れてはいけないのは市民の皆さんにどれだけ伝わったかということ。もう一度原点に立ち戻って取り組んでいきたいと思えます。「ナンパワン」より「オンリーワン」の広報が目標です。

今日は、無事に6月号を発行できたことと併せて、広報仲間と祝杯をあげたいと思います。